

平成 28 年度第 2 回豊能町総合教育会議 会議録

日 時：平成 29 年 1 月 16 日（木） 午前 11 時 00 分～11 時 55 分

場 所：豊能町役場 2 階大会議室

出席者：構成員 池田勇夫町長（議長） 新谷芳宏教育長 太田佳子教育長職務代理
岸本恵子委員 宮崎純光委員 川村新委員

出席者 乾副町長 板倉教育次長 塩山教育総務課長 小田教育支援課長
小嶋生涯学習課長 川西子ども支援室長

事務局 内田総務部長 秘書政策課長 江崎秘書政策課主任

傍聴希望者：1 名

会議次第

1. 議長（町長）あいさつ

2. 議題

（1）豊能町教育大綱骨子について

3. その他

開会 午前 11 時 00 分

議長（町長）

豊能町総合教育会議設置要綱第 4 条第 1 項において町長が議長となると定められており、その規定に従って進める。

なお、事前に受付をしている傍聴希望者は 1 名である。

豊能町総合教育会公開要領第 3 条第 1 項第 2 号の規定に基づき、入場を許可する。

《傍聴者入場》

議長（町長）

これより平成 28 年度第 2 回豊能町総合教育会議を開催する。

《議長挨拶》

議長（町長）

豊能町では、今年度、豊能町総合教育会議を前田中町長のもとで昨年５月に開催し、教育大綱骨子を策定している。その後、昨年１０月に私が町長に就任し、新たに教育大綱の策定をすることとなった。

本日、平成２８年度の第２回目の豊能町総合教育会議を開催することとなったので、どうぞよろしくお願いいたします。

まず、資料の確認について事務局から願います。

事務局

《資料の確認》

議長（町長）

議題の（１）「豊能町教育大綱骨子」について審議する。

まず、前・町長が策定した現行の「豊能町教育大綱骨子」があり、私としては基本的に政治家がみだりに教育内容に踏み込むべきでないと考えている。ただし、法改正により首長が教育大綱を策定することとなっているため、私の教育についての思いを述べたい。

まず、昔のことになるが、かつて子どもたちにはもっと体力があったと思う。「気力」「体力」は非常に大切なものであり、教育においても「気力」「体力」、「体づくり・体力づくり」が大切ではないかと思う。こうしたことについて、各委員の意見を承りたい。

委員

体力・運動能力調査などの結果でも、地域によってばらつきがあったり、ハンドボールなどの投げる能力などに課題があるという結果がでている。体力づくりは学力にも相関関係があるので、とても大事である。また、現在、豊能町で実施している保育所や幼稚園での取り組みは、小学校にも引き継がれているので、こうしたつながりはとても大切だと思う。一方、家庭においても子どもが親といっしょに遊びたいといった気持ちがあるので、こうした気持ちを満たして遊ぶことで体力づくりにもなると思う。

委員（教育長）

教育の中で、身体という土台作りは非常に大切なものだと思う。体だけでなく、徳や知というものが一体となることが必要ではないかと思う。

委 員

昔の子どもはとても体力があったと思う。家庭で手伝いをしたりすることも多かった。これは教育大綱に書き込むようなことではないかと思うが、幼稚園でやっている竹馬などは、子どもは楽しいので家に帰っても練習している。他にも家庭でも手伝いや家事をする中で体力づくりができるような仕掛けが必要なのではないか。

委 員

今の子どもの活動を見ていると、サッカーなどのスポーツで決められたルールの中で遊ぶことが多いと思う。また、それを教える側の先生も昔の子どもの遊びを知らないので、そうした遊びを教えられないと思う。例えば、先生の研修においてもそうした遊びも取り入れるなどして、日々の生活の中で体力づくりにつながるような仕組みができるようにできないか。

委 員

昔の子どもは家の手伝いとして、例えば山の間伐など、日々の労働の習慣があってその中で体力も作られていったところもある。豊能町は自然豊かな町であり、素晴らしい山林もある。こうした豊能町ならではの環境を活かした体力づくりが教育の中で取り組むことができればよいと思う。

議長（町長）

委員の皆さんのご意見を参考にしたい。

次に、豊能町の教育力について、皆さんに伺いたい。私は所信表明の「府内教育力ナンバーワン」から発展し、さらに「教育力・日本一」ということをうたっていきたい。大きな方針としてこういった目標を掲げ、その実現に向けた流れを作っていきたいと考えている。このことについての皆さんのご意見を伺いたい。

委 員

例えば、「日本一」というのは具体的に何を指しているのか。

議長（町長）

私が考えるのは、例えば、学力の面で日本一になるとかというだけでなく、日常の挨拶をしっかりするとか、生活を送る上でしっかりとした体力を作るなど様々な日本一があると思っており、幅広い意味で日本一を目指したいという風に

理解してもらいたい。

委員（教育長）

町長の思いとしては、学力だけでなく体力も同じように大切に育んでいくべきものという考えだと思う。例えば、学力を伸ばすことについては、町長はどのようなイメージをお持ちか。

議長（町長）

人にはそれぞれ個性があり、学力でいうと点数の高い人もあれば、低い人もあり、様々だと思うが、点数の低い人をさらに向上させることは実際にはなかなか難しい面があると思うが、私のイメージでは、低い人の点数を少しでも上げていくことで結果的に全体の平均が上がってくるので、こうしたやり方の方が全体としてはよいのではないかと思う。

委 員

低い人の点数を上げるのはとても大事なことだと思うが、実際には確かに高い人の点数を上げるよりもなかなか難しいと思う。こうしたことに取り組むには、学校の先生にも相当な力を注ぐ必要があると思う。子どもはみんな、どの子も勉強で知りたい、わかりたい、理解したいと思っていると思う。だから、点数の低い子どもも、高い子どもも同じように伸ばしてあげるようにすることが、豊能の教育ではないかと思う。

委 員

子どもはみんな自分でしっかり学びたいという気持ちを持っており、それをうまく育てるための教育が必要ではないか。これからの子どもたちの将来は、一層ＩＴ化が進んでいくために、例えば多くの仕事がなくなっていくのではないかと、一部で指摘されている。もし、仮にそういう世の中になったとしても生きていけるようにしなければならない。

委員（教育長）

学力の向上のためには、子どもの強い意欲や関心が深く影響しており、単に点数だけを指標にするのではなく、子どもの意欲なども指標として捉える考えかたが求められるのではないか。

委員

豊能町の幼稚園や保育所で取り組んでいる竹馬など、子どもにとっては、成功

体験というものがとても大切なものだと思う。それと同時に「伸びしろ」があることがとても大切だと思う。例えば、学力が高く、90点を取るような子どもにとって、さらに「伸びしろ」があればよいが、それがなければ、その子を感じる幸福度は少なくなるのではないか。それが、ゲームばかりでなく昔のような手伝いや遊びを体験していく中で、自分の「伸びしろ」を実感して、いろんな科目に対する意欲や関心につながっていけばよいと思う。

議長（町長）

委員の皆さんのご意見を参考にしたい。

次に、現行の教育大綱骨子の5「保幼小中一貫教育のビジョンについて」皆さんの意見を伺いたい。

委員（教育長）

少子化による子どもの小集団化のデメリットを解消することは、もちろん必要だが、子どもたちの育ち方をじっくり見ていく中で一貫教育を進めていくというほうが、現場の先生の感覚としてはしっくりして、やる気も出てくるのではないかと思う。

議長（町長）

小中一貫教育というソフト面は当然大切だが、財政を預かっているものとしては財政状況も踏まえながら、ハード面でのことも考える必要がある。子どもの数の推計を見ている、今後ますます少子化が進んでいくので、真剣にこのことも考えて取り組んでいきたいと思っている。

委 員

現行の大綱骨子では少子化が進行するために、小中一貫教育を行うという風に見えてしまう面がある。そうではなく、あくまでも、子どもたちのために必要に応じて小中一貫教育があるということが大切ではないか。

議長（町長）

私の基本的な教育に対する思いについて委員の皆さんのお意見を伺ったので、それらを参考にしながら、現行の「教育大綱骨子」に加えて、次回、教育大綱の案を示したい。

次に、議題の2「その他」について、現在、教育現場で様々な「いじめ」が問題になっているが、例えば、子どもの側で、いじめていない、いじめられていな

いといえば、結果的にいじめの事実がないというふうになってしまっているように思うが、こうしたことは、先生もなかなか見つけることが難しい。家庭でもなかなかこうしたことについて取り組みが難しいのか。

委 員

いじめというものは、残念だがなくならないと思う。なぜなら、大人の世界でもいじめはあり、子どもの世界だけいじめをなくすことは無理だと思う。ただ、実際にいじめをしている子どもは、いじめ以外に自分の楽しめることがないのだと思う。だから、そうした子どもにいじめよりももっと楽しいことを教えてあげることが必要ではないかと思う。

委 員

いじめをしている子どもの親も、子どもの生活態度や様子を見てあげる余裕がなくなっていると思う。豊能町のそれぞれの家庭の経済状況は比較的まだ余裕のある家庭が多いと思うが、それでもだんだん子どもの様子をしっかり見てあげる力が弱まっているところがある。担任の先生も子どもの一人ひとりの細かい行動について、見てあげることができれば、気づくことができるかもしれないが、保護者も先生もそういったところを発見する感受性が鈍ってきているところもある。ちょっとした変化に気づく感性とか色んな面での余裕が必要ではないかと思う。

議長（町長）

委員の皆さんご意見を伺った。案件はすべて終了したので、閉会とする。

《閉会 11 時 55 分》